

保健体育科学習指導案

指導教官.....

先生

実習者氏名.....

1、日 時 2024 年 6 月 4 日 火曜日 3 校時

2、場 所 体育館

3、学年・組 2 年 1.2 組女子

4、単元名 創作ダンス

5、単元目標

(1) 知識・技能

多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。

(2) 思考、判断、表現

表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫すると共に、考えたことを他者に伝えている。

(3) 学びに向かう力・人間性等

ダンスに積極的に取り組むと共に、仲間の学習を援助しようとする事、交流などの話し合いに参加しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとしている。

6、単元の内容のまとまり及び単元の評価規準

	ア.知識・技能	イ.思考・判断・表現	ウ.主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまり	ダンスの特性、踊りの表現の仕方を理解している。 ダンスの特性に応じて、交流ができるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身につけている。	ダンスを豊かに実践するために、運動の取り組み方を工夫している。	ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなど、学習に積極的に取り組もうとしている。
単元の評価規準	・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けたり、変化のあるひとまとまりの表	・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。	・ダンスの活動に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。

	現にして踊るための動きができる。		
学習活動に即した評価基準	①創作ダンスは、イメージを自由に表現して踊るものであることを知っている。 ②創作の手順と作品を印象付けるための変化の付け方を知っている。 ③身体全体を使って表現することができている。 ④どんなイメージをしたかが、見ている人に伝わる動きで踊ることができる。	①イメージを膨らませ動きの工夫をしている。 ②自分や仲間の表現や捉え方のよさを、仲間との見せ合いを通して確認している。	①自分の考えや仲間のアイディアを取り入れながら、よりよい動きを作ろうとしている。 ②作品作りに行き詰っても、あきらめないう作品を完成させようとしている。

7、指導にあたって

(1) 教材について

ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なダンス」で構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感情を込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることを楽しむ喜びを味わうことのできる運動である。

中学校では、イメージを捉えたり深めたりする表現、伝承されてきた踊り、リズムに乗って踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表をダンスの単元で取り扱っている。

その中でも、創作ダンスは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現することや、変化のあるひとまとまりの表現ができるようにすることをねらいとしている。

「多様なテーマから表したいイメージをとらえる」とは、日常的な動きや心象(意識の中に思い浮かべたもの)などの多様なテーマから、自らが表現したいイメージをとらえることである。そのため、多様なテーマ例から具体的なイメージを示すなどして、自らが表現したいイメージをとらえやすくなるようにすることが大切である。

「動きに変化を付けて即興的に表現する」とは、動きを誇張したり、変化を付けたりして、「ひと流れの動き」にして表現することを示している。また、思いつくままにとらえたイメージをすぐに動きにかえて表現することである。

「変化のあるひとまとまりの表現にして踊る」とは、表したいイメージを変化と起伏(盛り上がり)のある「はじめ—なか—おわり」のひとまとまりの構成で表現して踊ることである。

このような創作ダンスの活動を通して、生徒は、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方などを理解すると共に、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流ができる力を身につけることができる。

(2) 生徒の実態

1回目の授業で、ダンスに関するアンケート調査を行った。その結果から、まず2年生全体で見ると「ダンスは好きか」という項目で、「はい」と答えた生徒が全体の40%を占めており、ダ

ンスが好きな生徒が比較的多い印象である。しかし、「ダンスに自信はあるか」という項目で「いいえ」と答えた生徒が、全体で50%も占めており、理由は「ダンスを踊ったことがないから」「上手に踊れるか不安だから」という意見が多かった。次に、2年1.2組の結果を見ると、「ダンスは好きか」という項目で、「はい」と答えた生徒が全体の40%であり、2年生全体の時と同様で、比較的ダンスが好きな生徒が多い印象である。しかし、「ダンスに自信はあるか」という項目で、「いいえ」と答えた生徒が全体の50%以上も占めており、その理由には「ダンスを習ったことがないから」「運動ができないから」という意見が多かった。

(3) 指導について

本単元では、テーマに適した動きで表現できるようにすることが重要となるため、①多様なテーマの例を具体的に示し、取り組みやすいテーマを選んで、動きに変化を付けて素早く即興的に表現することができるようにする。②表したい感じやイメージを強調するように表現して踊ることができるようにする。

そのため、①の学習段階では、次のような活動を行う。

- ・グループを固定し、身近なテーマから連想を広げてイメージを出す、思いついた動きを即興的に踊ってみたり、仲間の動きをまねたりするなどの活動を取り上げる。

- ・動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現できるようにする。

次に②の学習段階では、次のような活動を参考に行うようにする。

- ・仲間とともに、テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方で、「はじめ—なか—おわり」の構成で表現して踊ることができるようにする。

- ・仲間やグループ間で動きを見せ合う発表の活動を取り入れる。

また、アンケート調査結果における生徒の実態から、授業ではダンスの楽しさを伝える活動からはじめ、ダンスを習ったことがない生徒もダンスを通して楽しさを味わえるようにする。また、「褒める」ことを重視し、生徒の肯定感を高め、ダンスに対する自信の向上に繋げていく。

8、指導計画 全 7 時間中 3 時間目

時間	1	2	3	4	5	6	7
0分	導入(集合、整列、出席・忘れ物確認、本時の内容説明〔前回の振り返り〕)						
50分	長座体前屈 の測定	リズムトレーニング(8×7)					
	アンケート を取る。	リズムト レーニン グ (8×7) の解説	対極の動 きを行う。	リズムト レーニン グ (8×7) の復習を 行う。	作品創作 ・2時間で、グル ープごとに、作品 創作に取り組む。	テスト グループご とに、リズ ムトレーニ ングのテス トを行う。	
	創作ダンス のグループ 決め	一人一つ 8カウン ト動きが できるよ うに、グ ループで 創作し、 円でリズ ム取りゲ ームを行 う。	課題曲と お題を提 示してイ メージを 膨らます	前回作成 したスト ーリーを 基に、ダン スを創作 していく。	・これまでの授業 で作った動きを繋 ぎ合わせる。 ・フォーメーショ ンの作成	発表 グループご とに創作し た作品を発 表していく。	
	ダンスの映 像（フォークダンス、 現代的なダンス、創作 ダンス）を見る。		テーマ と、テーマからイメ ージした踊りを考 える。				
	TikTokの ダンスを全員で踊る。						
発表の評価 を、自己評 価シートに 記入する。							
まとめ(整列、怪我の確認、授業の振り返り、次回予告、挨拶)							

9、本時の目標 (全 7 時間中 3 時間目)

(1) 知識・技能

対極の動きを理解し、身体で表現することができている。

(2) 思考・判断・表現

提示された動きを参考に、自分らしさを重視して動こうとしている。

(3) 学びに向かう力・人間性等

作品創作などについての話し合いに参加しようとしている。

10、授業の準備物

・筆記用具、創作ダンスノート、スピーカー

11、本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価及び方法
導 入 1 0 分	◎集合、挨拶、忘れ物チェック ・4列横隊に整列して集合する。 ◎体育委員の号令に従い、体操隊形に開く。 ◎準備運動、柔軟体操 ・ラジオ体操第2、長座体前屈、開脚前屈、足裏合わせ前屈、背中伸ばし(5分) ◎リズムトレーニング(8×7)を行う。(5分) ◎元の隊形に集合 ◎本時の学習内容を確認する。 ①対極の動きを行う。 ②全員で「カノン」を行う。 ③グループでテーマと、そのテーマに合った動き(8カウント×2)のダンスを創作する。	●健康観察 ●それぞれのストレッチの注意点を伝えながら行う。 1.前屈の際は、膝を曲げないこと 2.背中を伸ばす際は、お尻を突き出して、胸を張るようにして背中を反らす。肘が曲がらないようにする。 ・曲…ABC「ジャクソン5」 ●前回の復習として、ゆっくりのカウント・0.8倍速の音楽で通す。	
	本時のめあて ・対極の動きを学び、創作するダンスに取り入れる。		

展 開 3 5 分	◎対極の動きについて学ぶ。 ・対極について発問を個人で考える。 発問①「対極とは何でしょう？」 (2分) ・対極の動きの説明を聞く。 (2分) ◎教師の「せーの」の合図で拍手をし、教師が手を挙げたら拍手を止める。(2分) ◎対極の動き「走るー止まる」を行う。 ・「走る」(その場駆け足)を繰り返し、教師の手の合図とともに、「止まる」を行う。×3 (2分) ・「止まる」の時に、教師のポーズを真似する。×3 (2分) ◎対極の動き「大きいー小さい」を行う。×3 (3分)	○予想される生徒の反応 ・逆のこと ・反対にあるもの ●「大きい反対は？」や「高い反対は？」「走るの反対は？」のような簡単な質問を投げかけ、対極とはどんなものかイメージさせる。 ●前で「走るー止まる」を行い、ダンスは動いている時だけではなく、止まっている時にも表現があることを伝える。 ●「動くー止まる」を体感させる。 ●拍手をやめるタイミングが全員揃うまで行う。 ●最初は、「駆け足よーいはじめ」の合図で駆け足をさせ、手を挙げた時に止まらせる。 ●次は、「止まる」で教師の止まった時のポーズを真似させる。 ・ポーズ①…マッチョ ・ポーズ②…グリコ ・ポーズ③…おそ松さん ●「大きい」「小さい」のそれぞれのポーズを提示する。 ・「大きい」ポーズ…両手両足を広げる。 ・「小さい」ポーズ…しゃがんで体を丸める。	○対極の動きを理解し、身体で表現することができる。 【知識・技能】 (観察)
--	---	---	--

		◎全員で「カノン」を行う。 ×2 (5分) ・「左足・右足・手拍子」の動きを 列ごとにタイミングをずらして行 う。 ◎「カノン」の応用編を行う。 (3分) ×1 ・「左足・右足・手拍子」の「手拍 子」の部分でそれぞれ好きなポーズ を考える。 ・先ほどの列ごとに「左足・右足・ ポーズ」を順番に行っていく。 ◎集合 ・元の隊形に集合する。 ◎発問② 「曲を聴いてどんなイメージを持ち ましたか？」(1分) ◎創作ダンスの最後の発表で取り扱 う曲とお題の説明を聞く。 (3分)	●「大きいポーズ」「小さい ポーズ」と掛け声をして、ポ ーズの確認をする。 ●教師が「大きい」ポーズを したら、生徒はその対極の動 きである「小さい」ポーズを するよう指示する。また、そ の逆も行う。 ●曲…クイーン「We Will Rock You」 ●「左足・右足・手拍子」の 動きを伝える。 ●「左足・右足・手拍子」の 動きを全体で確認する。 ●最初は曲なしで行い、最後 曲に合わせて行う。 ●初めに曲を流してから、曲 のイメージを聞く。 ○予想される生徒の答え ・夏っぽい ・明るい ●曲…青と夏「Mrs. GREEN APPLE」 ●お題「夏休みのある日」 を発表する。	○提示された動き を参考に、自分ら しさを重視して動 こうとしている。 【思考・判断・表 現】(観察)
--	--	--	--	--

		◎創作ダンスグループで、最後の発表に向けた活動が始める。 (10分) ・お題「夏休みのある日」に合ったテーマを考える。 ・テーマが決めることができたグループは、そのテーマからイメージされる動き(8カウント×2)を創作する。	●グループのリーダーに創作ダンスノートを渡す。 ●「夏休みにどんなことをするか」問い、テーマのイメージを膨らませる。 ●思いつかないグループは、ダンスノートの第3回目に記載しているテーマ例を参考に創作する。 ●今回の授業で行った対極の動きを取り入れるよう指示する。 ●動きが思いつかないグループは、(8カウント×1)でもよいことにする。	○作品創作などについての話し合いに参加しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (観察)
まとめ 5分		◎集合 ◎テーマをグループごとに発表する。 ◎本時の振り返り ◎次回予告 ◎挨拶	●グループごとに縦一列で並ばせる。 ●今回作成したテーマと動き・今回の授業の感想をダンスノートに記入して、放課後までに提出しに来るよう指示する。 ●今回作成した動きの続きを行う。 ●健康観察	

※ 別添 アンケート 学習ノート

ダンスに関するアンケート

年 組 番 名前

*次の項目で当てはまるものに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない

1. ダンスは好きですか? (1 ・ 2 ・ 3)

2と答えた人は理由があれば書いてください。

2. ダンスに自信はありますか? (1 ・ 2 ・ 3)

2と答えた人は理由があれば書いてください。

3. ダンスを踊ることは楽しいと思いますか? (1 ・ 2 ・ 3)

2と答えた人は理由があれば書いてください。

4. ダンスを踊ることに恥ずかしさがありますか? (1 ・ 2 ・ 3)

1と答えた人は理由があれば書いてください。

5. ダンスを踊ることに抵抗感がありますか? (1 ・ 2 ・ 3)

1と答えた人は理由があれば書いてください。

6. 今までにダンス (なんのジャンルでも可) を経験したことがある (1 ・ 2)

1と答えた人はどんなダンス (ジャンル) をしていたか覚えている範囲で教えてください。

★好きな曲があれば教えてください!! (複数可)

第3回目：対極の動きとは？

めあて：対極の動きができるようにしよう！

○今日やったこと

①対極の動きを知る

「走るー止まる」➡「止まる」でポーズをする。

「大きいー小さい」➡「大きい」のポーズを相手がした時に、「小さい」のポーズをする。

②全員で「カノン」に挑戦！！

◎曲…クイーン「We Will Rock You」に合わせて、「左足・右足・手拍子」を列ごとにタイミングをずらして行う。

◎「左足・右足・手拍子」の「手拍子」の部分で好きなポーズをする。

④創作ダンス発表に向けての活動を始めよう！！

◎曲…青と夏「Mrs. GREEN APPLE」

◎お題「夏休みのある日」

●グループでお題を基にテーマを決めよう！！

テーマ例：「花火大会に行く」「夏祭りに行く」「海に泳ぎに行く」「部活」など

テーマ：

●テーマからイメージされる動きを考えよう！！(8カウント×2)

今日やった対極の動きを意識して創作してみよう！！

◎対極の動き例

①「大きい」⇔「小さい」

②「走る」⇔「止まる」

③「高い」⇔「低い」

④「速い」⇔「遅い」

★メモ欄

どんな動きをしましたか？

○本時の振り返り（気づき、感想など）

名前	振り返り